

# [水素式漏水探索機] スヌーパー4の使用法

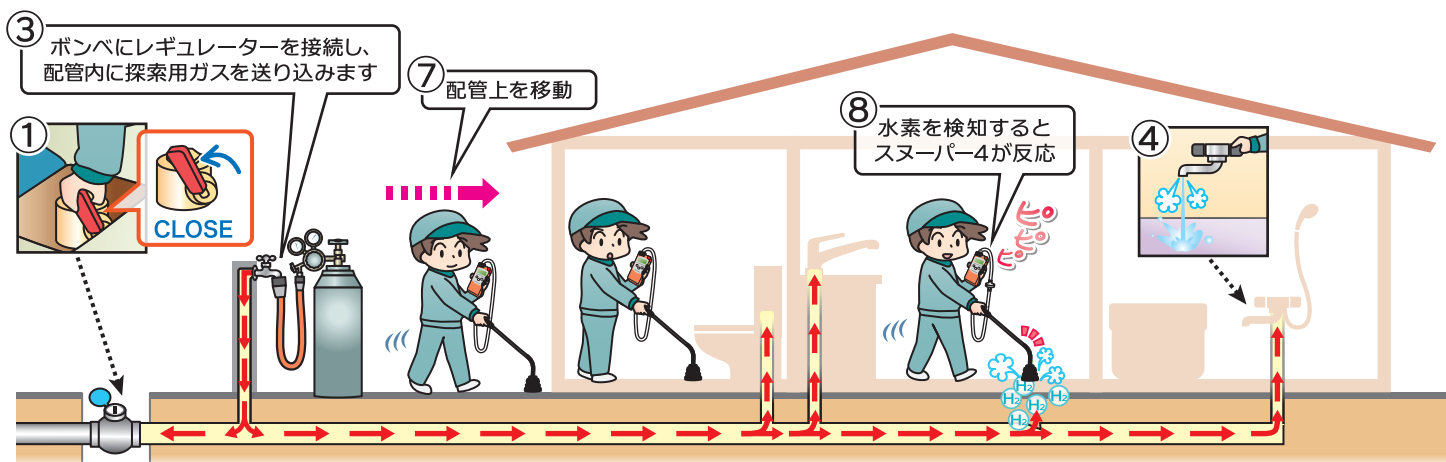
水素を含む探索用ガスを配管内に送り込み、漏水箇所から漏れ出た水素を感知して漏水箇所を見つける方法です。

## 探索用ガスを配管内に充満させて探索の準備をします

- ① 量水器などの止水栓を閉じます 探索区域の配管を閉塞します。
- ② 水栓を開けます 配管内の残圧と水を抜き取ります。
- ③ 水素を含む探索用ガス(水素5%・窒素95%)を用意します  
探索用ガスのポンベを開栓し、レギュレーターで圧力を調整(一般的には0.2~0.3Mpa)してから配管内に送り込みます。
- ④ 一番遠い栓を開けて再度閉じ、探索区域内の各水栓もそれぞれ開けてガスが配管内に充満したか確認します  
水栓を開けて噴出した気体をスヌーパー4で計測。数値が上がれば、配管内にガスが充満しています。確認後は必ず水栓を閉めてください。

## スヌーパー4で漏水箇所を探索します

- ⑤ スヌーパー4の電源ボタンを約3秒間押し続けると機器が起動し右上部の警告灯が点灯・ブザーが鳴り、自動校正が始まります  
自動校正は探索用ガスや排気ガス等が混入しない新鮮な空気内で行ってください。
- ⑥ ディスプレイが点滅表示から「0PPM」の点灯表示になると自動校正が完了し、探索が行えます  
点灯表示になってから探索を開始してください。
- ⑦ ベルプローブを地面に向け、管路の直上を探索歩行します  
(地面に穴を開けられる場合) 管路上の路面に1m間隔で穴を開けて、水素を出やすくするとより早く探索を進めることができます。
- ⑧ 水素を検知すると警告灯とブザーが反応し、水素濃度が表示されます  
水素濃度の数値が一番高い地点の付近を音聴・ボーリングをして漏水箇所を特定します。



本体にアタッチメントがついていない状態

アタッチメントはビス2本で固定します



## 路面探索用ベルプローブを接続

アタッチメント



本体にアタッチメントを2本のビスで固定します。アタッチメントにホースをグッと差し込むと接続できます。



## ショートプローブを接続



ショートプローブはアタッチメントと一体型になっているので、2本のビスで固定します。

